

視聴者注目の”瞬間”を分析！ NHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』の第32回「災いの種」

ご家庭に人体認識技術を搭載した機器を設置し、テレビスクリーンの「視られている量」を測るTVISION INSIGHTS株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長 郡谷 康士、以下TVISION）は、2022年1月にスタートした、三谷幸喜さん脚本・小栗旬さん主演の『鎌倉殿の13人』を、毎放送回、視聴者がどのシーンに注目したのかを分析しています。

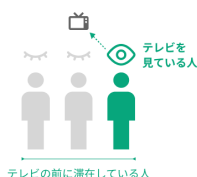
8月21日に放送された第32回「災いの種」は、視聴者にどのように見られていたのでしょうか？

テレビの視聴者の様子を、1分毎の「TVISION推定視聴率」と、「テレビの前にいる人のうち、テレビ画面に視線を向けていた人の割合＝注目度※」のグラフで見ました。

用語解説 注目度

※注目度とは？

テレビの前にいる人（滞在者）のうち、テレビ画面に視線を向けていた人（注視者）の割合を表します。シーンに注目している度合いがわかります。



テレビの前にいる人のうち、テレビ画面に視線を向けていた人の割合です。

テレビのコンテンツに、注目している度合いがわかります。

TVISION
INSIGHTS

『鎌倉殿の13人』毎分の注視データで見る、視聴者が注目したシーンとは？

第32回は、頼家（金子大地さん）の病状が回復し、北条が比企能員（佐藤二朗さん）を討ち取ったことを知った頼家が激怒し、北条への恨みを膨らませるという回でした。

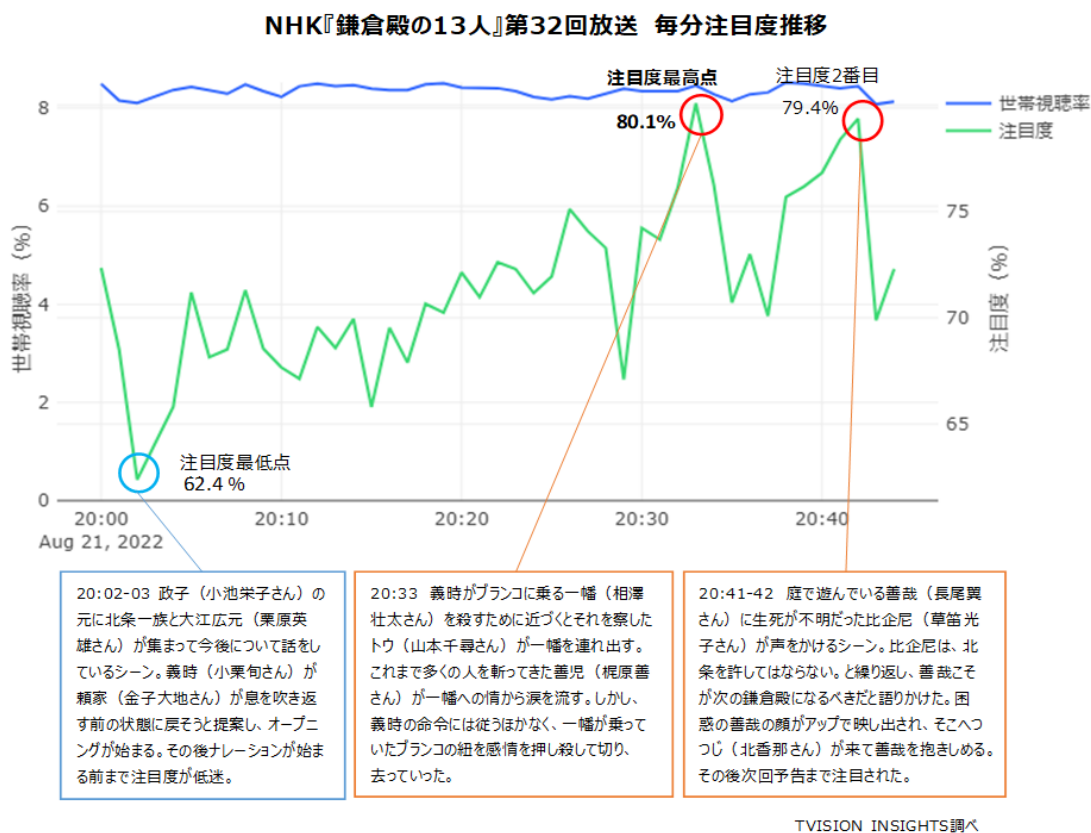
奇跡的に息を吹き返した頼家。しかし後鳥羽上皇（尾上松也さん）のもとには頼家危篤の報が届き、後鳥羽は考えを巡らせます。鎌倉では、政子（小池栄子さん）のもとに義時（小栗旬さん）、泰時（坂口健太郎さん）らが集まり、新たな体制について話し合っていました。そんな中、一人で思いにふける比奈（堀田真由さん）。一方、先を見据えるりく（宮沢りえさん）は時政（坂東彌十郎さん）に京との関係をより深めるように説き、愛息・政範（中川翼さん）も胸を高鳴らせます。そして、三浦義村（山本耕史さん）は、、、というストーリーでした。

SNS上では実衣（宮澤エマさん）の言動に注目が集まりました。比奈に対して放った「あの人には比企の血が」というセリフにネットは震えたようです。また善児（梶原善さん）がー

幡（相澤壮太さん）に対して見せた思いやりに対しても「トウ（山本千尋さん）を育てるうちに芽生えた情か」、「善児が人間になった」等の声が多数寄せられました。

毎分での注目度と推定世帯視聴率の推移

日付：2022年8月21日（日）放送
属性：個人全体



最も注目されたのは、20時33分で、注目度は80.1%でした。義時がブランコに乗る一幡を殺すために近づく、それを察したトウが一幡を連れ出します。これまで多くの人を斬ってきた善児が一幡への情から涙を流します。しかし、義時の命令には従うほかなく、一幡が乗っていたブランコの紐を、感情を押し殺して切り、去って行きました。今まで暗殺を担当してきた善児が初めて見せた他人への情と、変わってしまった義時の冷酷な態度に注目が集まったものと考えられます。SNSでも話題になったシーンでした。

2番目に注目されたのは、20時41分から42分で、注目度は79.4%でした。庭で遊んでいる善哉（長尾翼さん）に生死が不明だった比企尼（草笛光子さん）が声をかけるシーンでそた。比企尼は、「北条を許してはならない」と繰り返す、善哉こそが次の鎌倉殿になるべきだと語りかけます。困惑の善哉の顔がアップで映し出され、そこにつつじ（北香那さん）が来て善哉を

抱きしめます。その後、次回予告まで注目されました。比企尼の不気味な演技と、今後の伏線と思われる内容に注目が集まったものと考えられます。

注目度が一番低かったシーンは冒頭の20時02分から03分にかけてで、62.4%でした。政子の元に北条一族と大江広元（栗原英雄さん）が集まって、今後について話をしているシーンでした。頼家が息を吹き返す前の状態に戻そうと、義時が提案し、オープニングが始まります。その後、ナレーションが始まる前まで注目度が低迷しました。

※2021年の年間の、プライム帯（19-23時）におけるドラマジャンルの平均注目度は63%

<過去放送回の「鎌倉殿の13人」各回注目シーン分析はこちらをご覧ください>

<https://telescope.tvisioninsights.co.jp/summary-kamakura13/>

TVISIONでは、視聴者のテレビへ目線がどれだけ向けられたのか、テレビ番組では毎分、CMでは毎秒でデータを取得しております。今後も注目のテレビ番組やCMの分析を行って参ります。

<本件に関する問い合わせ先>

TVISION INSIGHTS株式会社 広報担当 佐野、峯島
東京都千代田区大手町1丁目6番1号大手町ビル6階
E-mail info@tvisioninsights.com
Tel（担当直通） 050-5468-2785

【TVISION INSIGHTS株式会社について】

TVISION INSIGHTS株式会社は人体認識技術によってテレビ番組・CMの視聴態勢データを取得し、BtoB向け視聴分析サービスを提供しています。ご家庭のテレビに、TVISIONが独自に開発した人体認識技術を搭載した調査機器を設置し、調査参加者の視聴態勢を毎秒で自動的に取得。「誰がテレビの前について、ちゃんと見ているか」というTVISION独自の注視データを広告主・広告会社・放送局など国内累計160社以上のクライアントにご活用いただいています。現在、国内では関東エリアの2,000世帯・関西エリア600世帯、地上波/MX/BSの全番組の視聴データ、ならびにコネクティッドTVの注視データを提供しています。